

若手句会実況中継 平成30年12月14日(金)

指導者…権未知子氏・佐怒賀直美氏

出席者数 25名

高点句

1位 焼き締めて土は器に冬北斗

黒澤 麻生子 8点

(受講生6点、権・佐怒賀選)

講評…「土は器に」と言いさしたところがよい。「寒北斗」でもいいかもしれない。(権)「冬北斗」が効いている。冷たい中に耀いている感じがいい。「寒北斗」だと寒すぎるのではないか。

(佐怒賀)

2位 枯野より戻りし猫の耳熱き

黒澤 麻生子 7点

(受講生5点、権・佐怒賀選)

講評…枯野で暴れて来た感じが読み取れる。(受講生) 耳が熱いところに猫の野生を感じた。私は猫好きなので、この猫のかわいさがたまらない。特選に採りたい句。(権)

3位 羊糞のもたりと倒れ暖炉燃ゆ

曲 風彦 5点

(受講生3点、権・佐怒賀選)

講評…「もたりと倒れ」が上手い。いかにもそんな感じ。(佐怒賀) 羊糞を薄く切っているんですね。「炬燵」などではだめで、「暖炉」くらいお洒落だからいいのだと思う。(権)

3位 海見ゆる店へ年末賞与の日

上野 犀行 5点

(受講生3点、權・佐怒賀選)

講評…「年末賞与」という難しい季語をすんなりと収めたのが上手。

「海見える店へ」と言うだけで、店の高級感が出た。普段は行けないけれど、という感じが分かる。(佐怒賀)

3位 何もなきところで蹴つまづき師走

白井 飛露 5点

(受講生5点)

講評…「蹴つまづき」の「蹴」はいらない。普通に「つまづき」としたい。(權)「つまづく」が師走と近すぎる。年配者が多い句会ではよくある内容。(佐怒賀)